
「肥厚性幽門狭窄症に対する単孔式腹腔鏡補助下幽門筋切開術の手術成績の検討」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんの診療情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【埼玉医科大学病院 IRB】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2012年7月1日から2023年12月31日の期間に埼玉医科大学病院 小児外科を受診し、肥厚性幽門狭窄症と診断されて当科に入院し、手術（幽門筋切開術）を受けられた患者さん（1歳未満の乳児または新生児）を対象としております。

2. 研究の目的

肥厚性幽門狭窄症に対する幽門筋切開術では臍切開による開腹手術（臍部アプローチ）や腹腔鏡下手術が一般に行われています。当院では従来臍部アプローチを行ってきましたが、安全かつ整容性に優れた術式として2020年より臍の切開のみを用いた単孔式腹腔鏡補助下の幽門筋切開術を採用しています。本研究はこの単孔式腹腔鏡補助下手術の手術成績を従来の臍部アプローチと比較し安全性を検証することを目的としています。

3. 研究期間

病院長の許可後～2025年12月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年4月1日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

本研究では以下のような診療データを調査し使用します。

- ・患者背景（出生週数・体重、性別、既往歴、手術時日齢・体重、幽門筋の厚さ・長さ）
- ・手術情報（術式、手術時間、合併症、術後に哺乳が全て可能になるまでの日数、術後在院日数）

上記項目のデータは診療記録等を用います。この研究で得られた患者さんの情報は、埼玉医科大学病院 小児外科において、研究責任者である鈴木 啓介が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

上記項目のデータは診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介（研究責任者）
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 田中 裕次郎
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 関 千寿花
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 五嶋 翼
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 吉田 美奈
- ・ 埼玉医科大学病院 小児外科 中島 優太

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学病院】病院長 篠塚 望

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介

住所：〒350-0495埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷38

電話：049-276-1654（土日祝日を除く 8：30～17：30）

メールアドレス：suzuki25@saitama-med.ac.jp

○研究課題名：肥厚性幽門狭窄症に対する単孔式腹腔鏡補助下幽門筋切開術の手術成績の検討

○研究責任者：埼玉医科大学病院 小児外科 鈴木 啓介